

SUKAGAWA SHINKIN BANK

第110期

業 務 報 告 書

令和4年4月1日～令和5年3月31日



 須賀川信用金庫

ごあいさつ

本日、ここに令和4年度「第110期」の業績を報告するにあたり、平素のご愛顧とご厚情に対し心からお礼申し上げます。

さて、わが国経済は、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和され、人の動きが活発化するにつれ、全体として持ち直しの動きが見られております。他方、世界に目を転じますと、ロシアによるウクライナ侵攻などを契機に、原材料価格が国際的に上昇する中、欧米



理事長

加藤敏彦

の中央銀行が急激なインフレを抑制するため金融引締め動きを強めており、世界経済の動向が日本の金融・経済に与える影響が懸念される状況になっております。

このような情勢の中、日本銀行は令和4年12月に長期金利の変動許容幅を $\pm 0.25\%$ 程度から $\pm 0.50\%$ 程度に拡大して金融緩和の姿勢を修正したところであり、日本銀行の動向に関してはマーケットや実態経済への影響を含め、今後も注視していく必要があります。

こうした環境の下、当金庫において令和5年度は、中期経営計画「すしん『支援力の強化と変革への挑戦』3か年計画」の最終年度であり、事業計画に掲げた重要課題「取引先の資金繰り支援」「本業支援、経営改善支援」「事業承継、再生支援」「個人と地域社会の課題解決支援」に引き続き積極的に取り組んでまいります。また、マネー・ローンダリング等への対応やサイバーセキュリティ対策の強化等を通じた、経営管理態勢の充実・強化にも役職員一丸となって全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、会員の皆さまのますますのご繁栄、ご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

事業の概況

事業方針

地縁性金融機関として、「相互扶助」の経営理念に基づき、独自性・特性や強みを発揮しながら地域やお客さまに寄り添い、真の課題解決や利益向上のお手伝いをすべく、中期経営計画「すしん『支援力の強化と変革への挑戦』3か年計画」の2年目にあたり、地域に根ざした協同組織金融機関として、「取引先の資金繰り支援」「本業支援、経営改善支援」「事業承継、再生支援」「個人と地域社会の課題解決支援」を経営目標に掲げ活動いたしました。

金融経済環境

令和4年度（2022年度）のわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、経済活動が制限されておりましたが、その後、政府による行動制限が緩和され景気の持ち直しが見られた一方で、昨年度に続き、ロシアのウクライナ侵攻が続いていることから原材料価格が高騰し、国内の企業物価上昇に拍車がかかり、金融・経済に与える不確実性が増しております。

金融面では、長引く超低金利政策が続き金融機関の収益力低下と経営体質を毀損させております。このような情勢の中、日本銀行は令和4年12月に長期金利の変動許容幅を0.25%程度から0.50%程度に広げて金融緩和の姿勢を修正しましたが、保有する有価証券の含み損が膨らむなど、今後の市場動向を注意深く見ていく必要があります。

このような環境の中、経営改善・事業再生・事業転換支援等や地域社会が抱える様々な課題の解決を図っていけるよう、その取組みに全力を傾注いたしました。

業績

預金は、法人預金は減少しましたが、個人預金は地域に密着した営業活動に努めた結果増加し、期末残高では前期末比33億円増加の2,382億円となりました。期中平均残高でも、法人預金は減少しましたが、個人預金、公金預金が増加し、前期末比47億円増加の2,410億円となりました。

貸出金は、法人向けで減少したものの、個人向け、地方公共団体向け、金融機関向けが増加したことから、期末残高では前期末比25億円増加の1,116億円となりました。期中平均残高では、法人向け、個人向けは減少しましたが、地方公共団体向け、金融機関向けで増加したことから、前期末比1億円増加の1,093億円となりました。

収益面では、貸出金利息が3百万円増加、預け金利息が14百万円増加、預り資産等の役務取引等収益が8百万円増加しましたが、低金利政策が継続されていることから有価証券利息は48百万円減少、物件費等の経費が52百万円減少したこと等から、当期純利益は前期比88百万円減少の325百万円となりました。

事業の展望

地縁性金融機関として「相互扶助」の経営理念に基づき、独自性・特性や強みを発揮しながら、中期経営計画に掲げた重要課題と併せコロナ禍の影響を受けた中小企業等に対しても「取引先の資金繰り支援」「本業支援、経営改善支援」「事業承継、再生支援」「個人と地域社会の課題解決支援」に取り組み、これまで以上に地域社会全体の成長に貢献していくことが求められているものと認識しています。

また、政府がA I等を活用したデジタル推進による地域活性化や官民一体でのSDGsや脱炭素社会への取り組みなどに対し、デジタル技術を活用した「利便性」の高いサービスの提供・業務の効率化に適切に対応できるよう支援していくことも求められています。

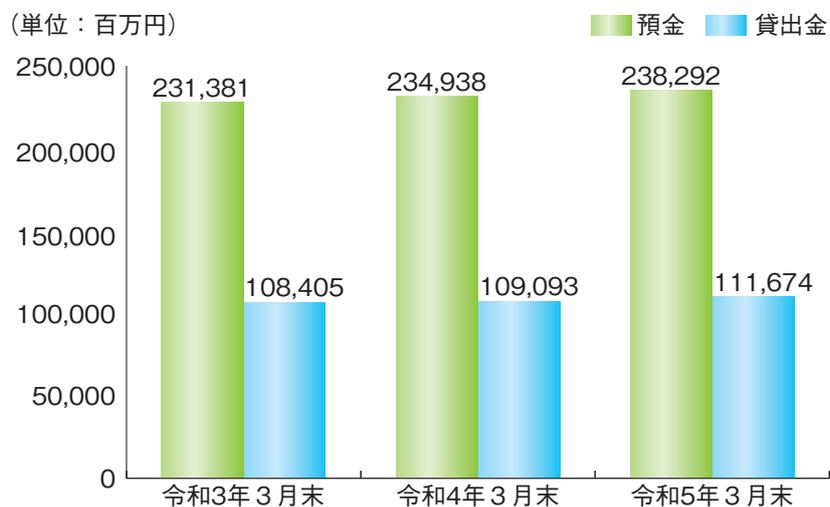
対処すべき課題

当金庫の使命は、あらゆる経営資源を活用して、会員や地域住民の皆さまとしっかり向き合い、ともに課題解決に努め、地域の持続的な発展に貢献することを目指すとともに地域やお客さまから必要とされ続け、これを揺るぎないものとする 것입니다。

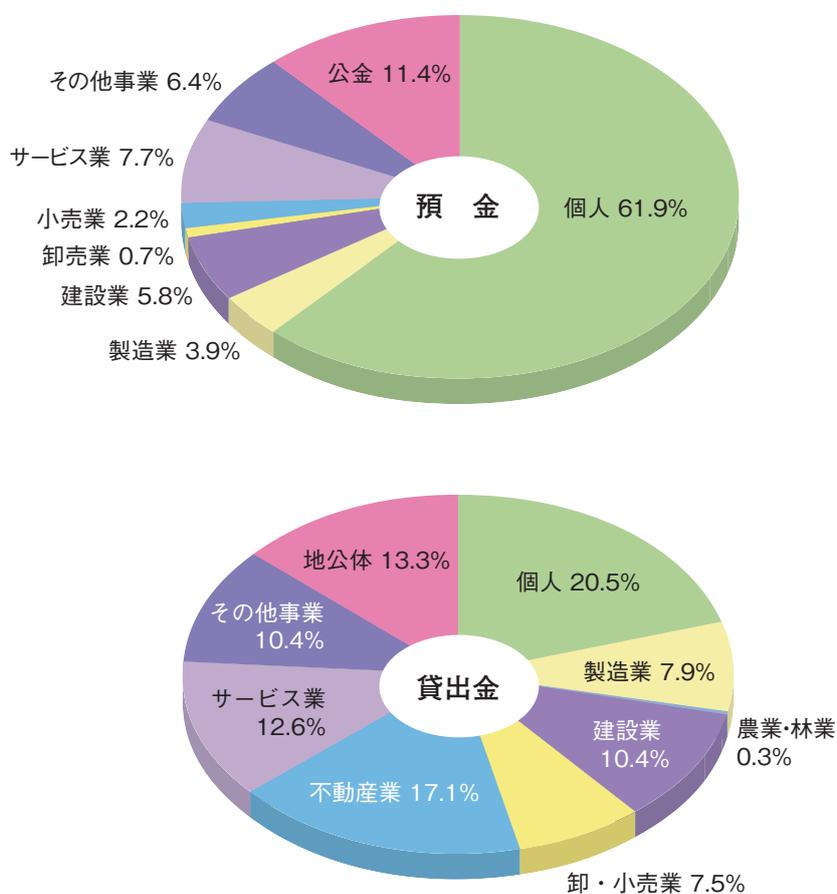
このために、令和5年度（2023年度）においても地域密着型金融の取り組みをさらに深化させ、地域からの信頼を揺るぎないものにしていくためには、経営のガバナンスを一層強化し各種リスクへの対応力を高め、利用者保護やコンプライアンスなどの充実強化を図り、特に、マネロン・テロ資金供与・特殊詐欺などの金融犯罪防止やサイバー攻撃に対するセキュリティ強化などに適切に対応してまいります。

業績の推移

預金・貸出金残高の推移

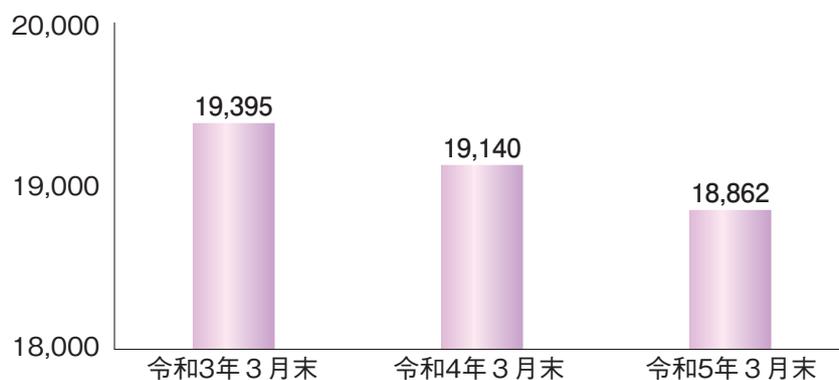


預金・貸出金業種別残高比率



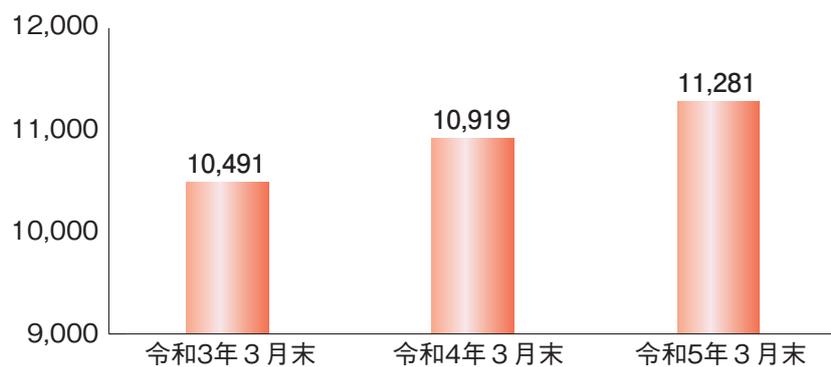
会員数の推移

(単位：人)



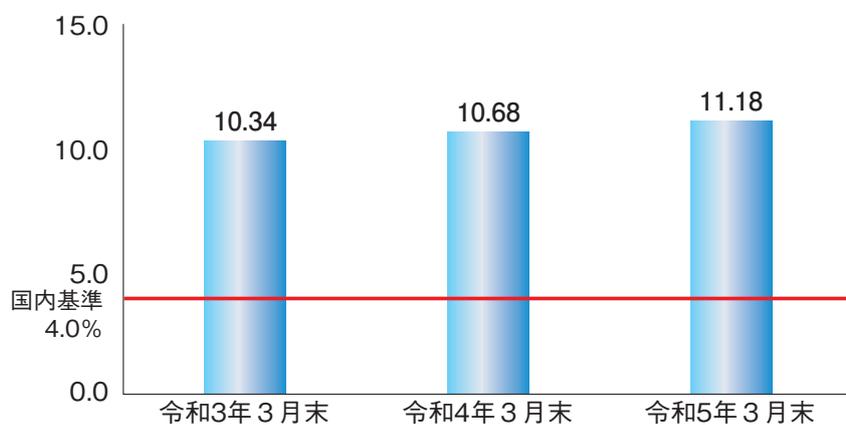
自己資本額の推移

(単位：百万円)



自己資本比率（国内基準）の推移

(単位：%)



第110期 (令和5年3月31日現在) 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金	2,705	預 金 積 金	238,292
預 け 金	63,389	当 座 預 金	7,475
買 入 金 銭 債 権	1,049	普 通 預 金	132,805
有 価 証 券	65,395	貯 蓄 預 金	1,250
国 債	4,244	通 知 預 金	452
地 方 債	8,964	定 期 預 金	88,860
社 債	33,025	定 期 積 金	5,393
株 式	370	そ の 他 の 預 金	2,054
そ の 他 の 証 券	18,790	借 用 金	170
貸 出 金	111,674	借 入 金	170
割 引 手 形	505	そ の 他 負 債	426
手 形 貸 付	7,090	未 決 済 為 替 借	72
証 書 貸 付	99,237	未 払 費 用	77
当 座 貸 越	4,840	給 付 補 填 備 金	3
そ の 他 資 産	1,324	未 払 法 人 税 等	22
未 決 済 為 替 貸	45	前 受 収 益	52
信 金 中 金 出 資 金	846	払 戻 未 済 金	10
未 収 収 益	206	払 戻 未 済 持 分	2
そ の 他 の 資 産	226	職 員 預 り 金	73
有 形 固 定 資 産	2,585	資 産 除 去 債 務	32
建 物	1,348	そ の 他 の 負 債	79
土 地	1,113	賞 与 引 当 金	54
そ の 他 有 形 固 定 資 産	123	退 職 給 付 引 当 金	164
無 形 固 定 資 産	19	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	111
ソ フ ト ウ ェ ア	12	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	12
そ の 他 無 形 固 定 資 産	6	偶 発 損 失 引 当 金	18
繰 延 税 金 資 産	144	債 務 保 証	1,099
債 務 保 証 見 返	1,099	負 債 の 部 合 計	240,350
貸 倒 引 当 金	△1,006	(純資産の部)	
(うち個別貸倒引当金)	(△900)	出 資 金	919
		普 通 出 資 金	919
		利 益 剰 余 金	10,292
		利 益 準 備 金	885
		そ の 他 利 益 剰 余 金	9,406
		特 別 積 立 金	8,795
		当 期 未 処 分 剰 余 金	611
		処 分 未 済 持 分	△0
		会 員 勘 定 合 計	11,212
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△3,180
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△3,180
		純 資 産 の 部 合 計	8,031
資産の部合計	248,382	負債及び純資産の部合計	248,382

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第110期 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	2,709,335
資金運用収益	2,294,267
貸出金利息	1,630,750
預け金利息	108,303
有価証券利息配当金	530,328
その他の受入利息	24,886
役務取引等収益	350,732
受入為替手数料	161,523
その他の役務収益	189,208
その他業務収益	33,607
国債等債券売却益	2,383
その他の業務収益	31,224
その他経常収益	30,727
株式等売却益	10,529
その他の経常収益	20,198
経常費用	2,351,410
資金調達費用	31,124
預金利息	25,170
給付補填備金繰入額	2,151
借入金利息	3,422
その他の支払利息	379
役務取引等費用	196,118
支払為替手数料	39,446
その他の役務費用	156,671
その他業務費用	90,611
国債等債券売却損	89,356
その他の業務費用	1,254
経常費用	2,003,782
人件費用	1,274,506
物件費用	655,077
税金	74,198
その他経常費用	29,774
貸倒引当金繰入額	12,682
株式等売却損	2,759
その他の経常費用	14,332
経常利益	357,924
特別損失	547
固定資産処分損	547
税引前当期純利益	357,376
法人税、住民税及び事業税	62,827
法人税等調整額	△31,015
法人税等合計	31,811
当期純利益	325,565
繰越金(当期首残高)	286,282
当期末処分剰余金	611,848

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第110期 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) 剰余金処分計算書

(単位：円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	611,848,143
剰 余 金 処 分 額	351,465,310
利 益 準 備 金	33,532,000
普通出資に対する配当金	(年2%) 17,933,310
特 別 積 立 金	300,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	260,382,833

以上のとおりであります。

須賀川信用金庫

理 事 長 加 藤 敏 彦
 常 務 理 事 伊 藤 平 男
 常 務 理 事 大 木 正 一
 理 事 加 藤 勉
 理 事 石 幡 敦
 理 事 大 槻 次 男
 理 事 岩 井 勇 也
 非常勤理事 佐 藤 俊 彦
 非常勤理事 橋 本 幸 江

以上各項を監査の結果、その正確なることを認めます。

令和5年5月29日

常 勤 監 事 矢 吹 信 一
 非常勤監事 滝 田 賢 治
 非常勤監事 関 根 猛

(注) 監事 滝田賢治は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事であります。

独立監査人による監査報告

信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、独立監査人である公認会計士 鈴木 一徳氏及び公認会計士 田中 亮氏の監査を受け、適法であると認められております。

トピックス

悩み・困りごと特別相談会

当金庫顧問弁護士による無料法律相談会を5/19・5/21
11/18・11/19 に実施

第109回通常総代会

6/24 に開催し、2つの議案を承認可決



東北・夢の桜街道運動 絵画コンクール

東日本大震災復興応援プロジェクト「東北・夢の桜街道運動」
に協賛し、須賀川市と古殿町の小学生を対象に絵画コンクール
を実施



第8回 須賀川信用金庫理事長杯野球大会

8/27に実施
須賀川・岩瀬管内の10校が参加

県下信用金庫一斉クリーン作戦（清掃活動）

全営業店・本部役職員が参加し、10/12に実施



新春講演会

すしん信和会、須賀川しんきん経営者協議会及び、すしん
オンリー1倶楽部の共催により、野村修也氏を講師に迎え
1/26に開催



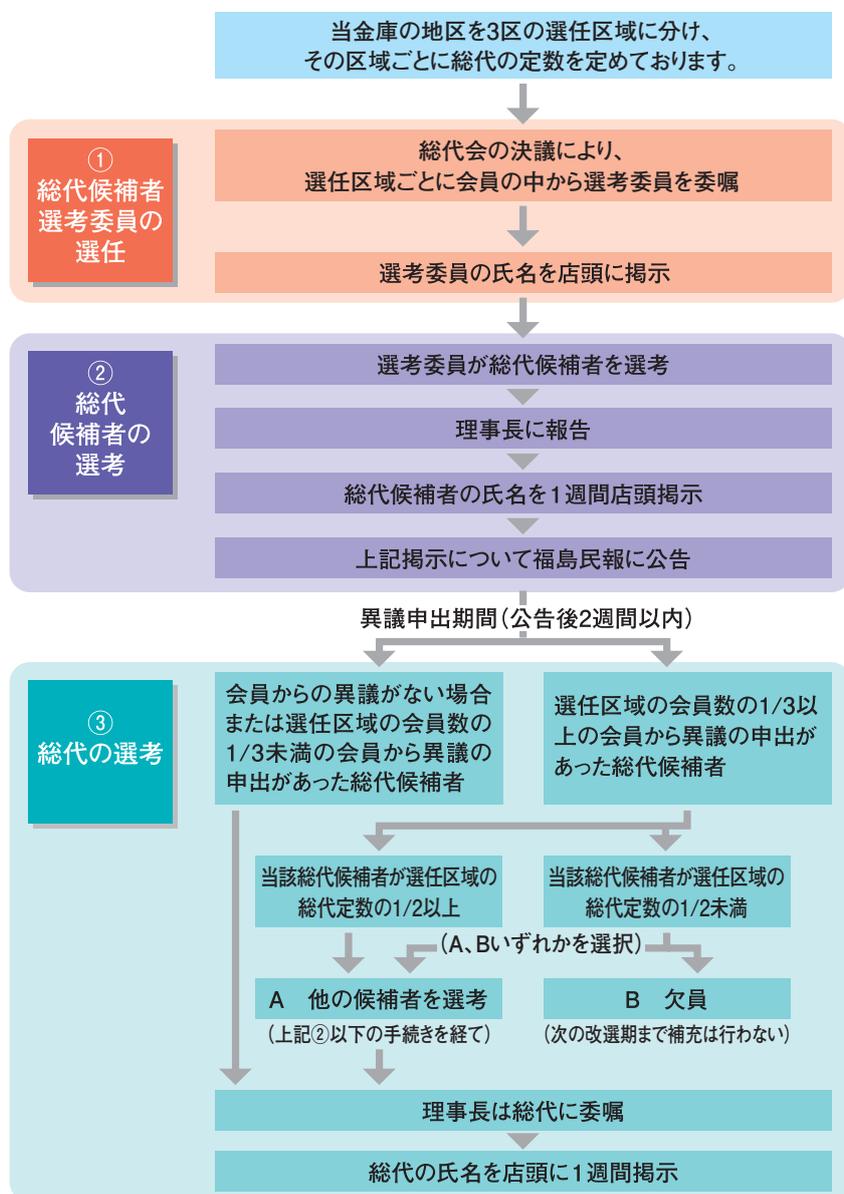
総代会等に関する情報開示

1 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代わり総代会制度を採用しております。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の業務を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

2 総代が選任されるまでの流れ



3 総代選任区域及び総代数

令和5年3月31日現在

地区	区 域	人数
1区	須賀川市 鏡石町 天栄村	(60) 59
2区	石川町 古殿町 玉川村 平田村 矢吹町の一部	(19) 19
3区	郡山市	(21) 21

注 ()内は定数です。

4 第110回通常総代会

令和5年6月23日、第110回通常総代会を開催し、下記の事項につきいずれも原案通り承認可決されました。

報告事項

第110期（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）
業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件

決議事項

- 第1号議案 第110期剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 理事9名選任の件
- 第3号議案 監事3名選任の件
- 第4号議案 役員退職慰労金支給の件
- 第5号議案 定款第15条に基づく会員除名の件



INFORMATION

店舗所在地

(令和5年4月1日 現在)

店舗名	所在地	電話番号	ATM設置台数
①本店営業部	〒962-0842 須賀川市宮先町31番地	(0248)75-3171	
②駅前支店	〒962-0859 須賀川市塚田88番地	(0248)75-2168	
③石川支店	〒963-7851 石川郡石川町字新町11番地	(0247)26-3111	
④郡山支店	〒963-8871 郡山市本町二丁目1番9号	(024)932-2005	
⑤桑野支店	〒963-8025 郡山市桑野二丁目35番7号	(024)934-0171	
⑥鏡石支店	〒969-0401 岩瀬郡鏡石町不時沼331番地5	(0248)62-3175	
⑦長沼支店	〒962-0203 須賀川市長沼字金町151番地	(0248)67-3171	
⑧上町支店	〒962-0864 須賀川市北上町84番地5	(0248)76-5911	
⑨西川支店	〒962-0054 須賀川市牛袋町121番地1	(0248)76-3171	
⑩古殿支店	〒963-8305 石川郡古殿町大字竹貫字竹貫38番地1	(0247)53-3727	
⑪富田支店	〒963-8045 郡山市新屋敷一丁目167番地	(024)921-0222	
⑫玉川支店	〒963-6312 石川郡玉川村大字小高字南畷10番地1	(0247)57-4178	
⑬安積支店	〒963-0105 郡山市安積町長久保三丁目3番1	(024)945-1222	
⑭須賀川市 役所支店	〒962-0831 須賀川市八幡町135番地	(0248)72-2121	

※全てのATMで、通帳繰越機能がご利用いただけます。
※全てのATMに視覚障がい者用ハンドセットが設置されています。
※全てのATMに点字表示が標準化されています。



入金・払戻・記帳・振込(現金取扱可)・定期預金取引可
※須賀川市役所支店は現金振込の取扱いは出来ません

◎須賀川市内に6店舗、郡山市内に4店舗、
石川郡内に3店舗、岩瀬郡内に1店舗の**合計14店舗**がございます!

INFORMATION

■ 店舗外自動サービスコーナー

(令和5年4月1日 現在)

設 置 場 所	
須賀川市内	上町支店 川東出張所(大東商工会隣) ●
	公立岩瀬病院 ●
	ヨークベニマルメガステージ須賀川南店 ●
	ヨークベニマル須賀川森宿店 ●
	ながめまショッピングパーク アスク ●

- 入金・払戻・記帳・振込(当金庫および提携金融機関CDカードの取扱可)・定期預金取引可



しんきん
通帳アプリ

いつでもどこでも、
入出金明細や残高を
スマホで確認!

ご利用
無料

※詳しくはホームページをご覧ください。

または、店舗にリーフレットを備え付けてございますのでお気軽にお問合せ下さい。

福島県しんきんゼロネットサービス

福島県内8信用金庫のATMご利用手数料が

365日 終日無料

福島県内8信用金庫が設置するATMから営業時間内
であればご利用手数料が無料で現金のお預入れ・
お引出しができます。

※県内8信用金庫以外が幹事となっている共同ATMおよび
コンビニATM等は対象外となります。



地域とともに110周年 ~いままでも、これからも~

おかげさまで令和6年10月に110周年を迎えます

地域をつなぎ、地域と共に歩む



須賀川信用金庫